



# ひたちなか治水だより

令和5年9月 第30号

発行：ひたちなか市建設部河川課  
那珂川緊急治水対策推進室

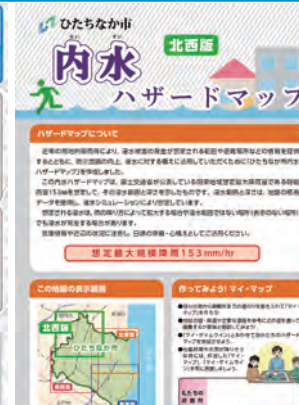
ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。  
国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

【お知らせ】今一度、災害が発生する前に準備をお願いします。

令和5年9月8日から9日にかけて、台風13号から変わった熱帯低気圧や高気圧の縁を回る湿った空気の影響により、千葉県や茨城県では線状降水帯が相次いで発生し、1時間に100ミリを超える猛烈な雨が降り、茨城県では8日昼すぎから各地で猛烈な雨が相次ぎ、「記録的短時間大雨情報」が午後7時半すぎまでにあわせて8回、発表されました。このような気象状況が今後も発生するかもしれません。日頃からの災害に対する準備、気象情報、災害情報の再確認をお願いします。

- お住いの地域のハザードマップの確認！
- 防災情報の確認！
- 避難のための準備！
- 非常用の飲料水、食料、避難用具等の用意！

左記の項目を再度ご確認をしてみましょう！  
 昨今の気候変動により、線状降水帯の発生による大雨、  
 台風、局地的大雨等による被害が増加しています。  
 日頃から、災害に備えていきましょう！



◀お持ちですか？  
この機会に、ご用意  
ください！▼下記から  
ご確認ください！



▲内水ハザードマップは、北西版、北東版、南西版、南東版の4つに分かれています。洪水ハザードマップは、表示範囲の都合で西部版と東部版の2つに分かれていますので、該当する地区の地図をご確認ください。



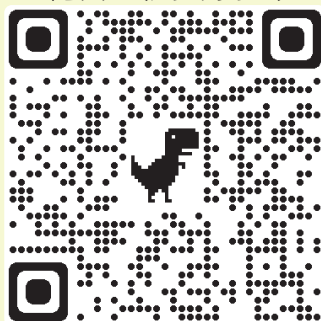
市公式 HP 安心・安全メール



市公式 HP 避難所



市公式 HP ハザードマップ等



市公式 HP 風水害の備え



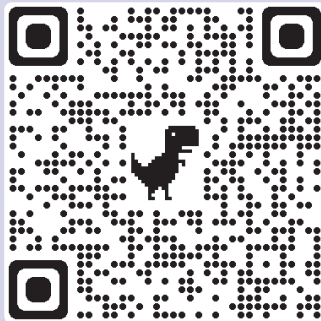
気象庁



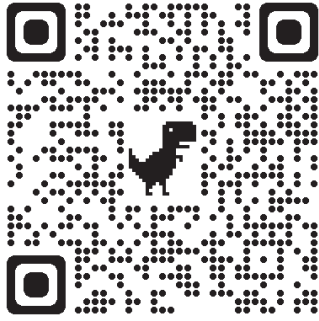
水戸地方気象台



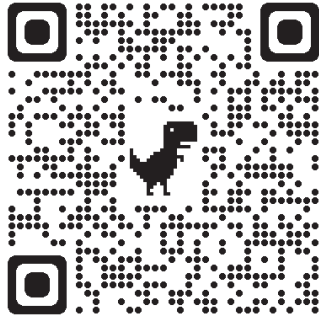
川の防災



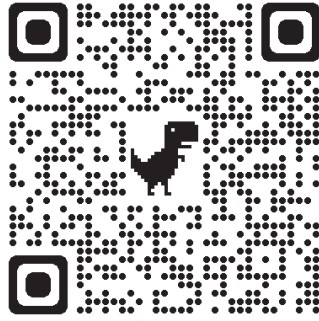
茨城県河川水位情報



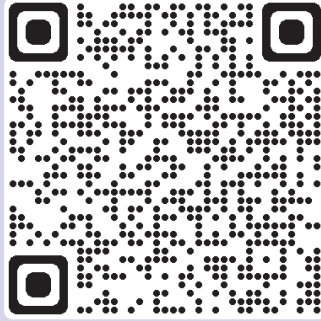
NHK (NWS WEB)



Yahoo! 河川水位情報



Yahoo! 防災アプリ

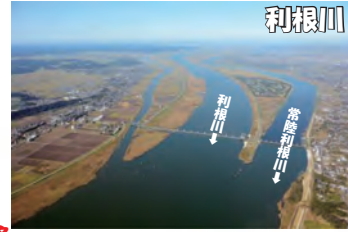


茨城県防災・危機管理ポータルサイト

# 1. 霞ヶ浦導水事業の現地見学を行いました。【国】

河川課では、100mm/h安心プランで計画している雨水幹線整備のために、国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦導水工事事務所で行っている霞ヶ浦導水事業の見学を行いました。この霞ヶ浦導水事業の工事が、今後、本市で計画している工法と同じシールド工法で管径の規模も類似し、また、市で初めて行う工法でもあることから、「百聞は一見に如かず」ということもあり、イメージを掴むために見学を依頼し実現しました。今回は、霞ヶ浦導水事業についてご紹介します！

霞ヶ浦導水事業は、利根川・霞ヶ浦・那珂川を地下トンネルで結び、水を相互に行き来させることで、霞ヶ浦や水戸市を流れる桜川や千波湖の水質を浄化したり、利根川と那珂川の水不足を減らしたり、飲み水や工場で使用する水を確保する事業です。



Kasumigaura Dosui  
アクセスはこちら➡

霞ヶ浦導水工事事務所

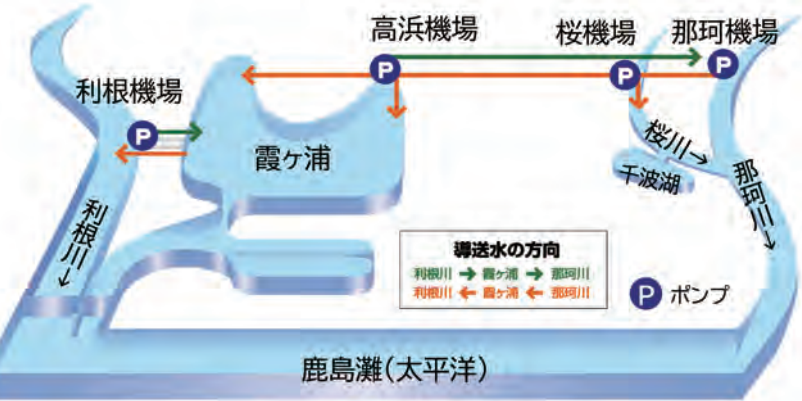
URL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/>

## 霞ヶ浦導水事業の目的

**・水質浄化**  
那珂川下流部から霞ヶ浦及び桜川へ導水するとともに、利根川下流部から霞ヶ浦へ導水し、霞ヶ浦、桜川等の水質浄化を図ります。

**・水不足の軽減**  
霞ヶ浦から那珂川及び利根川にそれぞれ導水し、那珂川下流部及び利根川下流部における既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

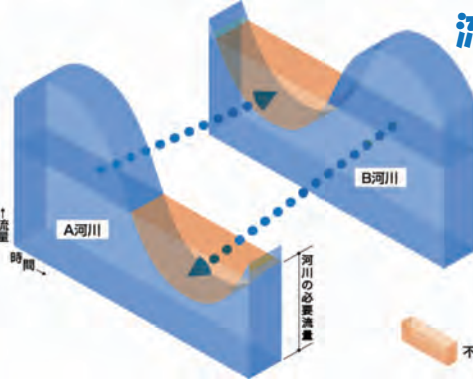
**・水道及び工業用水の供給の確保**  
茨城県、東京都、印旛都市広域市町村圏事務組合の新規水道用水と、茨城県、千葉県の新規工業用水の供給の確保を図ります。



## 流況調整河川とは

▼流況（水量の季節的特性）が異なる2つ以上の河川を水路で結び、時期に応じて水量に余裕のある河川から不足している河川に水を移動させ、それぞれの河川の流況を改善するものです。これにより河川の必要流量の確保、水の有効活用を行います。

▶右上段写真から時計回りに、沈砂槽→ポンプの流出口（ポンプ室）→ポンプ室→ポンプ施設の説明を受けています。→モーター室



▼概要の説明を受けています。

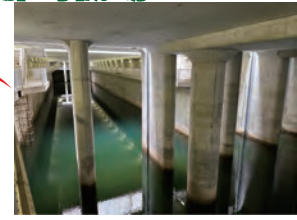


## 2. 霞ヶ浦導水事業の現地見学を行いました。【国】

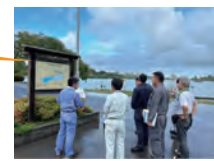
利根機場 霞ヶ浦管 土浦放流口 高浜機場 玉里立坑 美野里立坑 堅倉立坑 上飯沼立坑 茨城立坑 水戸立坑 桜機場 那珂機場 ◀見学した施設



桜機場  
那珂機場



千波湖

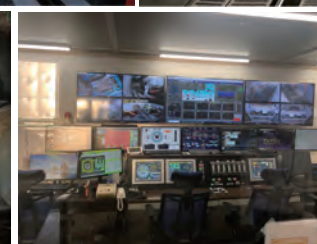
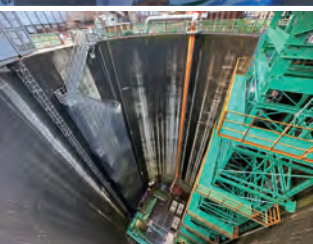
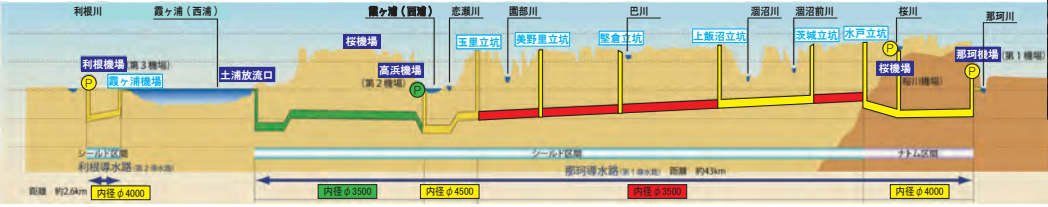


茨城立坑



現在、霞ヶ浦導水工事事務所では、石岡トンネル第1工区の工事を実施しています。新たに石岡トンネル第3、4、5工区の工事に着手する予定です。これにより、石岡トンネルについては、すべての工区で工事着手となります。

今回、河川課では、令和5年8月9日と24日の二回に分けて、現在シールド工法で工事を行っている石岡トンネル第1工区の茨城立坑を見学し、工事説明を受け、市の工事と比べ、施工規模が大きい現場を体験しました。



▲左上から時計回りに、茨城立坑場内の様子。トンネル内の様子。立坑を地上から撮影。立坑内に降りて撮影。トンネル内の機材の説明を受けている状況。シールド工法の制御システム。

### 桜川試験通水

現場見学の時期は、桜川への試験通水の実施期間（令和5年6月～9月）であり、目的は、那珂川から取水した水を試験的に桜川に放流し桜川と千波湖の水の浄化効果を確認しています。実際に、那珂川の水が桜川に放流されると下記の右下の写真のようにきれいな水となって流れていきます。



▶右上写真は、通水するための空気の流れの混入状況。右下写真は、桜川への放流状況。



▶右上写真は、導水するための樋管。右写真は、霞ヶ浦に導水するための取水口。



桜川の水

那珂川の水

水がきれいです！

桜川合流点の状況

# ひたちなか市の流域治水の取り組みについて視察しました。【国】

令和5年9月5日（火）に国土交通省を退任後、各土木関連の研究所で研究され、山梨大学の教授でありました末次教授（現在：（一般社団法人）地域国土強靱化研究所 顧問）がひたちなか市の流域治水の取り組みについて視察に訪れました。末次教授は、現在は上記の研究機関において顧問を務め、流域治水の取り組みについての研究や茨城県の河川について講演をされています。今回は、本市で行っている流域治水の取り組みについて、常陸河川国道事務所流域治水課と現地を視察され、本市の流域治水の取り組みについて説明しました。

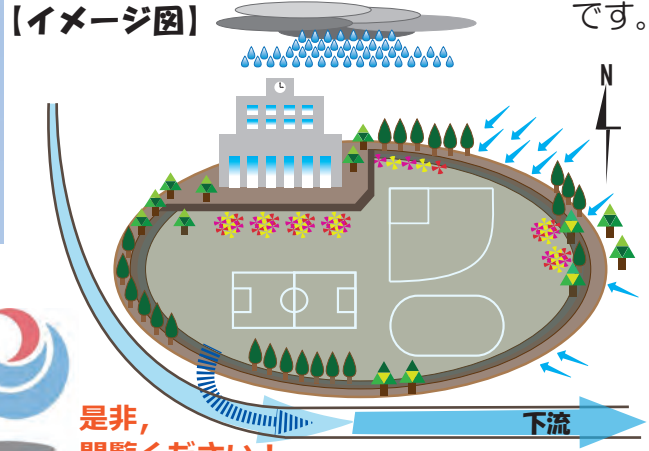
## 那珂川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～本川及び支川の河道掘削、堤防整備、遊水地整備等により、令和元年東日本台風に対する再度災害を防止～



ひたちなか市では、流域治水の取り組みとして校庭貯留、調整池事前放流、調整池整備等を行っています。今回の視察では、その中の現在整備を行っている田彦小学校の校庭貯留施設を説明しました。この校庭貯留施設は、田彦小学校の東側の流域の雨水を溜め、西側の水路の負担を軽減する施設です。田彦小学校の周辺に降った雨を一時的に校庭の地下に溜めることにより、水路の流量を軽減し、水路の負担を少なくし、浸水被害を軽減させる施設となっています。

**ひたちなか市の取り組み** 令和5年9月8日～9日の線状降水帯による大雨では、地下施設の容量が100%と満水となり効果を確認しました。また、この施設は、降った雨を校庭の地下だけでなく地上にも溜める事が可能となります。貯水量は、地下の施設で2,800m<sup>3</sup>、地上の施設で1,800m<sup>3</sup>です。



※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。※上図の対策は代表的な事例を記載。



是非、**ご覧ください！**  
 ←アクセスはこちら、↓URLは下記参照！  
**久慈川・那珂川流域治水プロジェクト（常陸河川国道事務所 HP）**  
**URL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/hitachi00878.html>**

ひたちなか市建設部河川課  
 那珂川緊急治水対策推進室  
 〒312-8501  
 ひたちなか市東石川2丁目10番1号  
 TEL 029-273-0111（内線 6418）

「ひたちなか治水だより」は不定期更新でひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも治水に関する情報を公開しています。  
 アクセスはこちら→

